

PEACE
INCLUSION
PIECE



Global Disability Summit Asia 2027 Tokyo

GDS世界障害者アジアサミット2027 東京

— 東京都・東京観光財団 国際会議誘致採択事業 —



日本から、 次のインクルージョンモデルを世界へ。

障害インクルージョンは今、人権課題にとどまらず、政策、雇用、教育、都市設計、テクノロジー、投資に関わる重要テーマとなっています。

日本は、超高齢社会、地域共生、バリアフリー、支援技術、障害者雇用など、多くの実践知を蓄積してきました。

Global Disability Summit Asia 2027 Tokyo は、日本の知見をアジア、そして世界へ接続し、国際的な対話と実装を前進させる機会です。

企業・自治体・教育機関・市民社会とともに、実証、協業、雇用、商品・サービス開発へつながる具体的な成果を創出し、次の時代のインクルーシブ社会を共に築いてまいります。



世界が直面する課題

なぜ今、障害インクルージョンが重要なのか

世界では、およそ13億人（6人に一人）が何らかの障害を有するとされています。

障害インクルージョンは、一部の人のための特別な課題ではなく、社会全体の持続可能性と成長に関わるテーマです。



01

教育・雇用・社会参加 における構造的格差

障害のある人は、教育、就労、情報アクセス、移動、医療などの面で、依然として多くの障壁に直面しています。

02

障害と貧困の相関

障害は機会格差と結びつきやすく、所得、教育、健康、社会参加の不均衡を固定化しやすい構造があります。

03

高齢化社会 との接続

障害と高齢化は密接に関係しており、高齢社会の進展に伴い、アクセシビリティや支援設計の重要性はさらに高まっています。

04

ビジネス・技術・都市 設計への組み込み不足

商品・サービス、デジタル、AI、交通、建築、雇用制度などにおいて、障害の視点を前提とした設計は、今後の競争力に直結します。

障害インクルージョンは、社会的責任にとどまらず、事業機会、顧客接点、雇用力、ブランド価値を高める経営課題でもあります。

GDS世界障害者サミットの歩み

各国政府と International Disability Alliance (IDA) が共同開催してきた
世界最大級の障害インクルージョンサミット

2018

ロンドン(英国)



英国政府・IDA

2022

オスロ(ノルウェー)



ノルウェー政府・IDA

2025

ベルリン(ドイツ)



ドイツ政府・ヨルダン政府・IDA

2027

東京(日本・アジア地域)



GDS Asia Regional Summit



国内準備委員会設立



東京都国際会議誘致事業 採択

主催

PIP・IDA

2028 (予定)

カタール



カタール政府・IDA

協賛



東京都

(東京都・東京観光財団)



GDSで扱われる主なテーマ

多様なテーマを横断的に議論し、インクルーシブな社会の実現に向けた具体的なアクションを創出します。



01 人と権利

01 人権

02 障害女性

03 子ども・若者

04 政治参加

05 自立生活

02 教育・雇用・経済

06 教育

07 障害者雇用

08 経済的自立

09 リーダーシップと
当事者参画

03 テクノロジー・ 社会基盤

10 AI・デジタル
インクルージョン

11 情報アクセシビリティ

12 テクノロジー・
支援機器

13 移動・交通

04 健康・地域・環境

14 医療・
リハビリテーション

15 防災・
災害リスク軽減

16 気候変動

17 インクルーシブ・
ツーリズム

05 国際連携・文化

18 国際連携・
国際協力

19 文化・芸術

20 スポーツ



開催概要

GDS Asia 2027 Tokyo

日本発のインクルーシブモデルを、アジアから世界へ。

日程 2027年11月4日（木）～6日（土）

会場 ベルサール羽田空港（全面使用）
東京都大田区羽田空港2-7-1

形式 対面・オンライン ハイブリッド開催

規模（予定）
60か国以上
海外：500名以上
国内：2,000名以上
オンライン参加

主催
International Disability Alliance (IDA)
（世界最大の国際障害者組織ネットワーク）
一般社団法人 PEACE INCLUSION PIECE (PIP)
GDS Asia 2027 Tokyo 国内準備委員会

協賛（予定）
東京都（国際会議誘致事業）
企業・団体・自治体 ほか

後援申請中
内閣府・厚生労働省・国土交通省・文部科学省・
経済産業省・子ども家庭庁 等



想定参加者

世界60か国以上から、多様なリーダー・専門家・実践者が集結します。



海外参加者

約60か国・500名



障害当事者団体（OPD）リーダー



国際機関・国際ネットワーク関係者



政府・政策担当者



研究者・教育機関



インクルーシブビジネス・技術開発関係者



財団・支援組織



国内参加者

約2,000名



企業経営層



人事・DEI・サステナビリティ担当者



自治体・中央省庁・関係機関



教育機関・研究者



福祉事業者・就労支援関係者



障害当事者・家族団体



メディア・報道関係者



60か国以上



約2,500名



障害当事者団体
(OPD)



国際機関・政府



企業・経済団体



教育・研究機関



多様なステークホルダーが集い、対話・協業・社会実装を創出します。

PIP

主催者情報

一般社団法人 PEACE INCLUSION PIECE (PIP)



所在地

〒100-0013

東京都千代田区霞が関三丁目2番3号
霞が関コモンゲート アネックス棟2階



お問い合わせ

pip@inclusion-company.com



ウェブサイト

peaceinclusionpiece.com



代表理事

南北 ちとせ

